

1 充実段階評価における「所管人口」の変更について

- 充実段階評価「7.1 年間に受け入れた重篤患者数（来院時）」「25 救命救急センターを設置する病院の年間受入救急車搬送人員」は、各救命救急センターに按分された「所管人口」で計算をする。
- 令和6年4月に西部第1、第2MCの区域割り変更が行われたため、改めて二次救急医療圏の搬送状況を確認したところ、下記の地区について、「所管人口」としている救命救急センターと搬送実態が伴っていなかった。

比企地区 → 埼玉医科大学総合医療センターの所管人口に含めているが、埼玉医科大学国際医療センターに多く搬送されている。

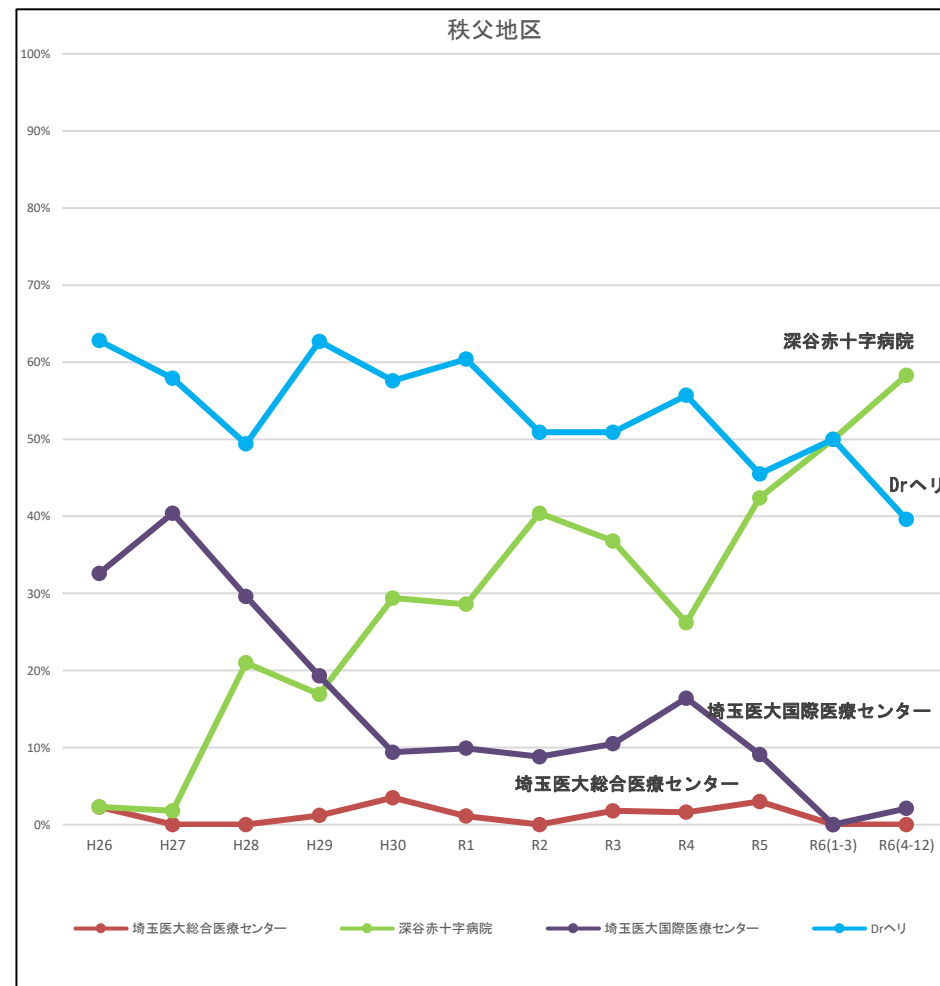
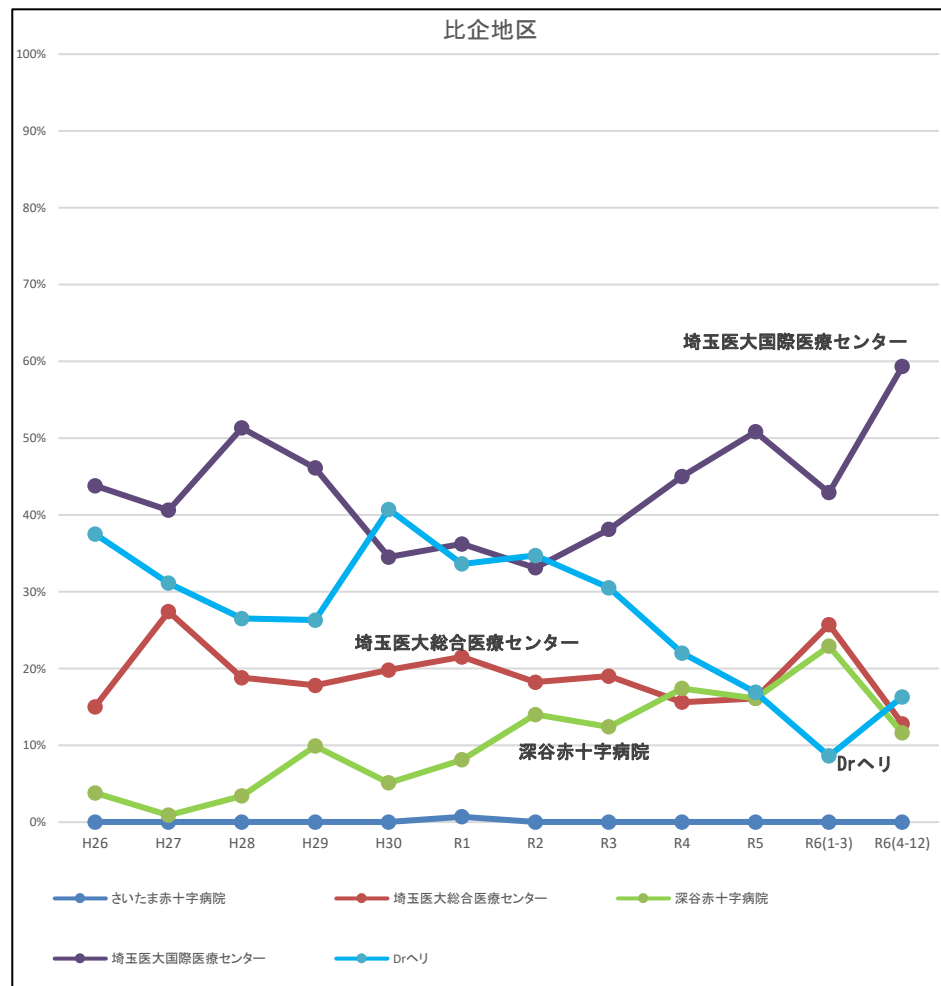
秩父地区 → 埼玉医科大学国際医療センターの所管人口に含めているが、深谷赤十字病院に多く搬送されている。
- そこで、令和6年充実段階評価から、比企地区を埼玉医科大学国際医療センター、秩父地区を深谷赤十字病院の「所管人口」に変更したい。

変更となる救命救急センターの人口按分

	現行		変更案
埼玉医科大学 総合医療センター	823,986人 (川越地区、比企地区)	→	636,867人 (川越地区)
深谷赤十字病院	570,079人 (熊谷・深谷地区、児玉地区)	→	659,476人 (熊谷・深谷地区、児玉地区、秩父地区)
埼玉医科大学 国際医療センター	450,238人 (坂戸・飯能地区、秩父地区)	→	548,140人 (坂戸・飯能地区、比企地区)

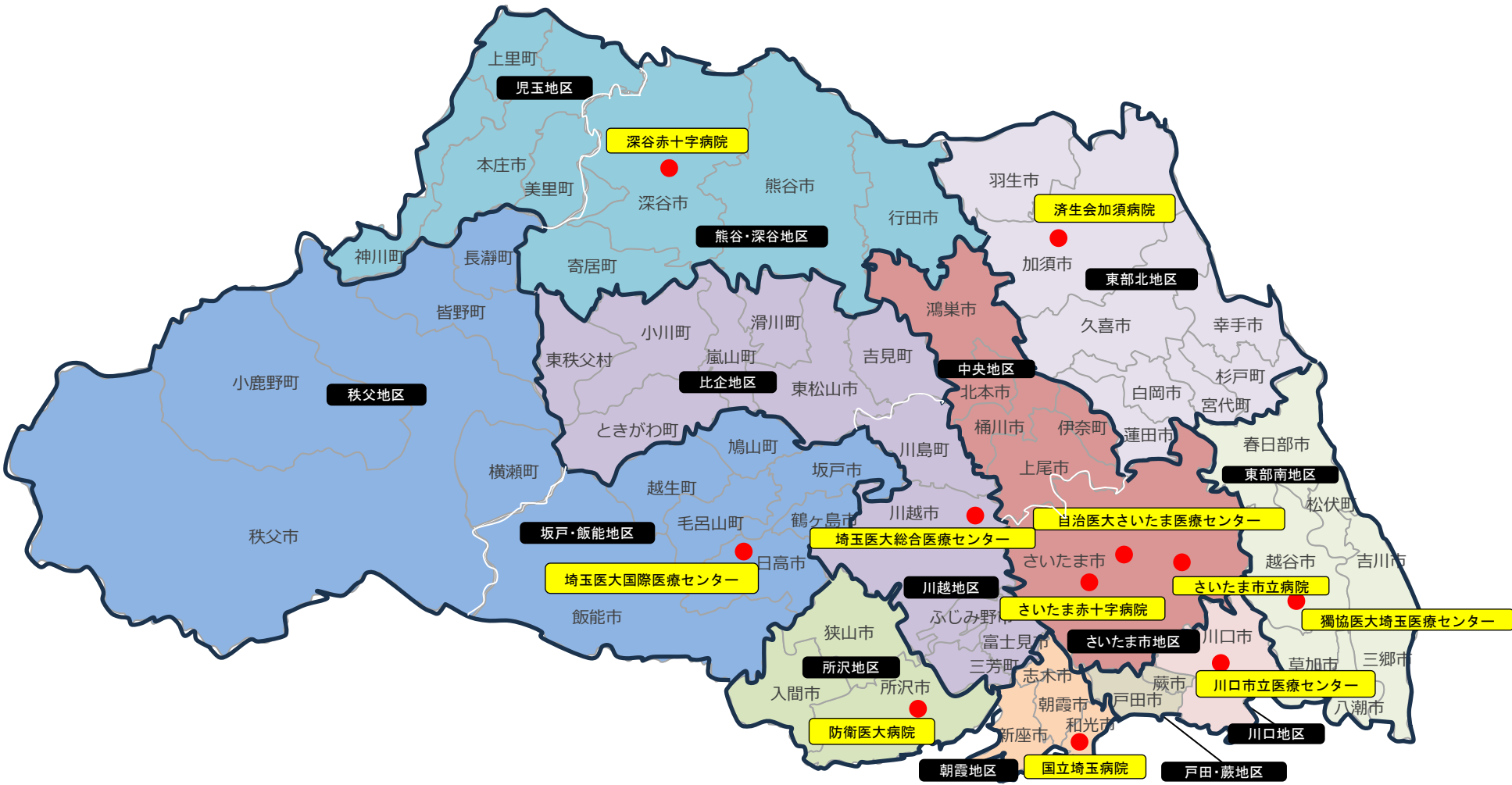
※令和6年1月1日現在の人口

比企・秩父地域の重篤患者の搬送状況



※救急医療情報システムデータより算出。
 ※重篤患者：「重症以上」かつ緊急度が「緊急」の事案。
 ※転院搬送を除く。

充実段階評価における所管人口区域（現行）



充実段階評価における所管人口区域（変更案）

